

障害福祉サービス提供事業所等調査

和歌山県全域集計結果(通所系)

9. 放課後等デイサービス

県全域集計

通所系

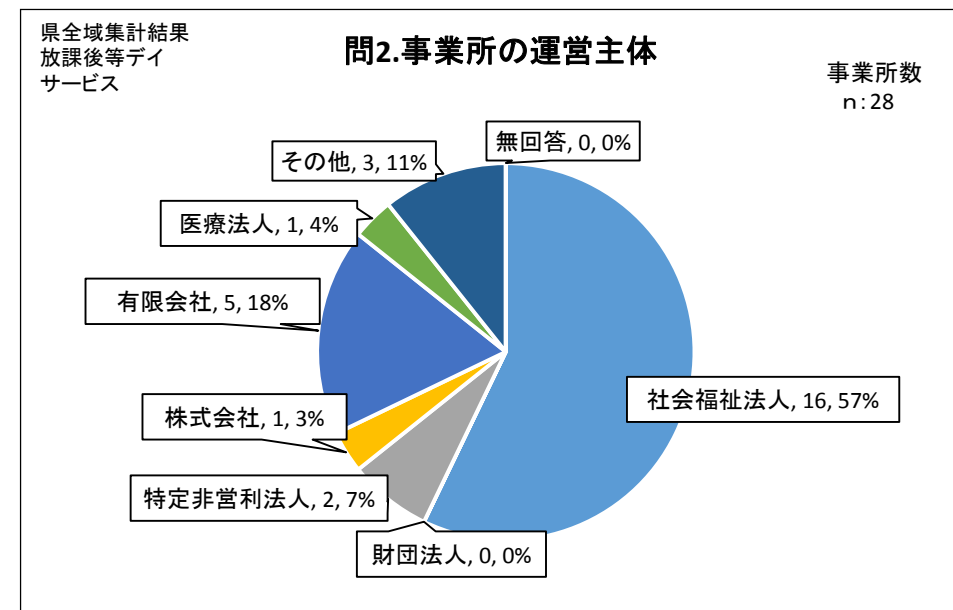
配付数	(有効)回収数	(有効)回収率
63	28	44.4%

9. 放課後等デイサービス

問2	運営主体	「社会福祉法人」57%、「有限会社」18%、「特定非営利法人」7%、「医療法人」4%の順となった。
問3	所在地	「那賀」36%、「和歌山」18%、「西牟婁」14%、「日高」11%、「伊都」・「東牟婁」が7%、「有田」・「海草」4%の順。
問4	契約者数	「16～20人」、「21～25人」、「26～30人」が17.9%で同率。次いで、「31～35人」の14.3%。
問5	職員体制	「6～10人」が71%と一番多く、「11～15人」が18%、「1～5人」「16～20人」「21～25人」は各4%。
問6	サービス内容	「活動」が89.3%、「食事介助」「送迎(全員)」が60.7%、「排泄介助」53.6%、「遠足」46.4%、「送迎(一部)」32.1%。
問7	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」は25%、「不可能」が75%。
問8	時間帯	「日中」のみ。
問9	提供可能な医療的ケア	「服薬管理」「口腔・鼻腔吸引」100%、「気管内吸引」「経鼻栄養」「パルスオキシメーター」が85.7%、その他「気管切開部の管理」、「人工呼吸器の管理」、「中心静脈栄養」等も可能である。
問10	医療的ケアを受けている年齢層	「7～17歳」が90.9%、「1～6歳」が9.1%。
問11	障害者手帳と等級	身障「1級」が37%、療育手帳「A1」が21.7%、「A2」が2.2%、「無し」が17.4%、精神保健福祉は「無し」が19.6%。
問12	医療的ケアが必要な方の障害支援区分	非該当
問13	提供している医療的ケア	「胃瘻」が22.1%。「在宅酸素」16.2%、「口腔鼻腔吸引」「服薬管理」が13.2%。「気管切開部の管理」、「気管内吸引」は11.8%。
問14	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「新たな看護師の確保が困難」が最も多く、66.7%、その他の項目は約17～33%。
問15	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「医療的ケアを担う看護師確保が出来ない」が76.2%。「事業所として対象としていない」42.9%、「医療的ケアを実施するための設備改修が必要」が38.1%、「医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の経験が無い」が28.6%。
問16-1	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」が64%、「行っていない」が21%、「これから作成する」が11%、「マニュアルがない」は0%。
問16-2	被災時用の備蓄品	「食料」87%、「衛生材料」43.5%、「薬」が39.1%。「酸素」、「注入食」、「呼吸器バッテリー」や「発電機」の備蓄もしている。
問17	医療的ケアが必要な障害児者が安心して生活する為の改善点	「看護師確保の報酬基準の改善」、「介護職員の医療的ケア研修の時間緩和と機会の増」、「緊急時の対応可能な医療機関の確保」が63～67%。「圏域内に医療福祉を備えた施設の整備」が37%。
	傾向と評価	運営主体は、社会福祉法人が過半数。職員体制は「6～10人」が71%。医療的ケアについては、「利用できない」が75%。提供可能な医療的ケアの内容は全般的に可能。医療的ケアが必要な方が「利用できない」理由については、「医療的ケアを担う看護師確保ができない」ことが76%と高い値。災害対策マニュアルの見直しについては、「行っている」が64%で物品の備蓄もほぼできている。

問2. 事業所の運営主体

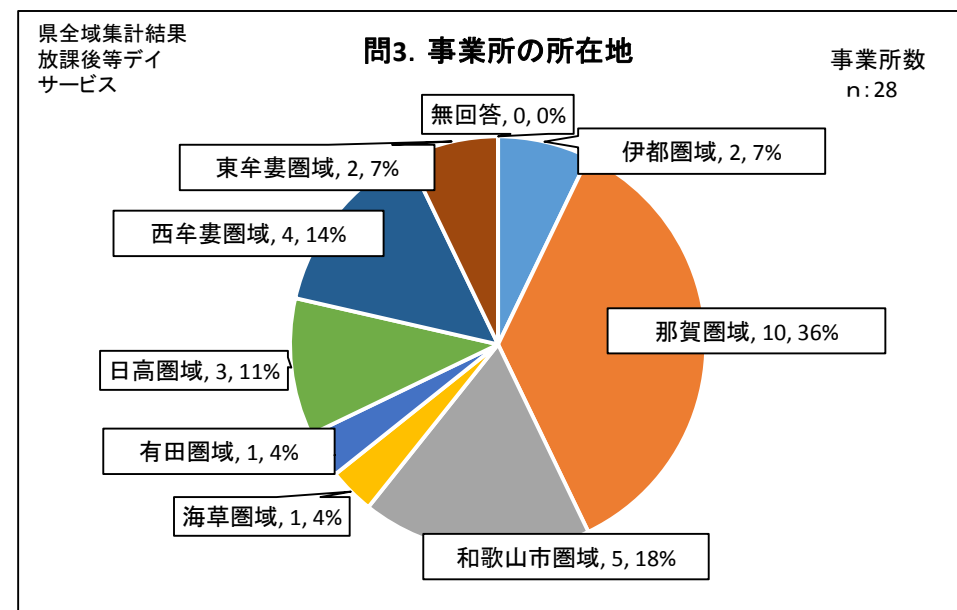
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
社会福祉法人	2	5	2	0	1	2	2	2	16	57.1%
財団法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特定非営利法人	0	0	0	0	0	0	2	0	2	7.1%
株式会社	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3.6%
有限会社	0	3	2	0	0	0	0	0	5	17.9%
医療法人	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3.6%
その他	0	1	1	0	0	1	0	0	3	10.7%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	100.0%



問2	運営主体	「社会福祉法人」57%、「有限会社」18%、「特定非営利法人」7%、「医療法人」4%の順となった。
----	------	---

問3. 事業所の所在地

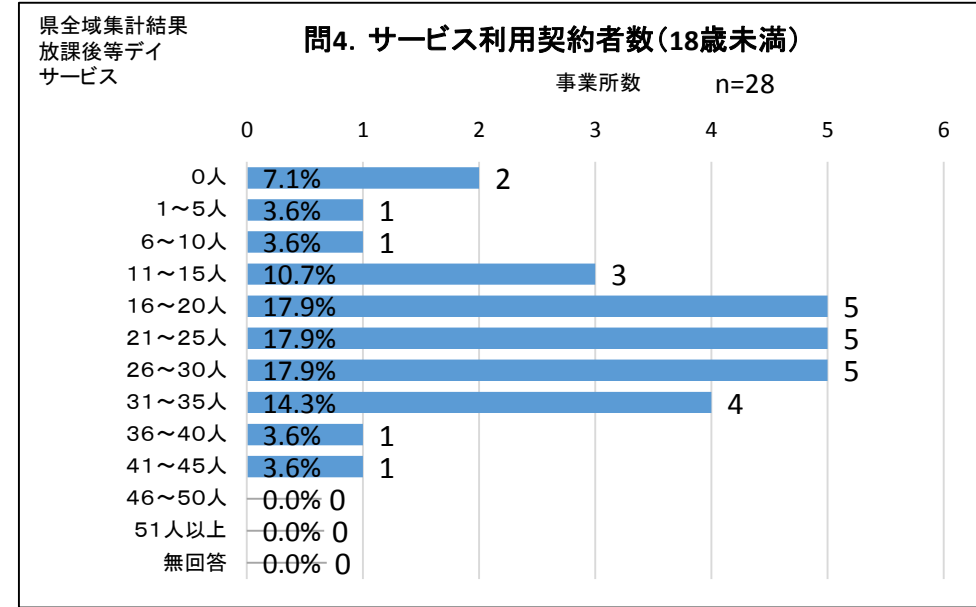
所在地	事業所数	%
伊都圏域	2	7%
那賀圏域	10	36%
和歌山市圏域	5	18%
海草圏域	1	4%
有田圏域	1	4%
日高圏域	3	11%
西牟婁圏域	4	14%
東牟婁圏域	2	7%
無回答	0	0%
事業所数合計	28	100%



問3	所在地	「那賀」36%、「和歌山市」18%、「西牟婁」14%、「日高」11%、「伊都」・「東牟婁」が7%、「有田」、「海草」が4%の順
----	-----	---

問4. サービスを利用している契約者数(18歳未満)

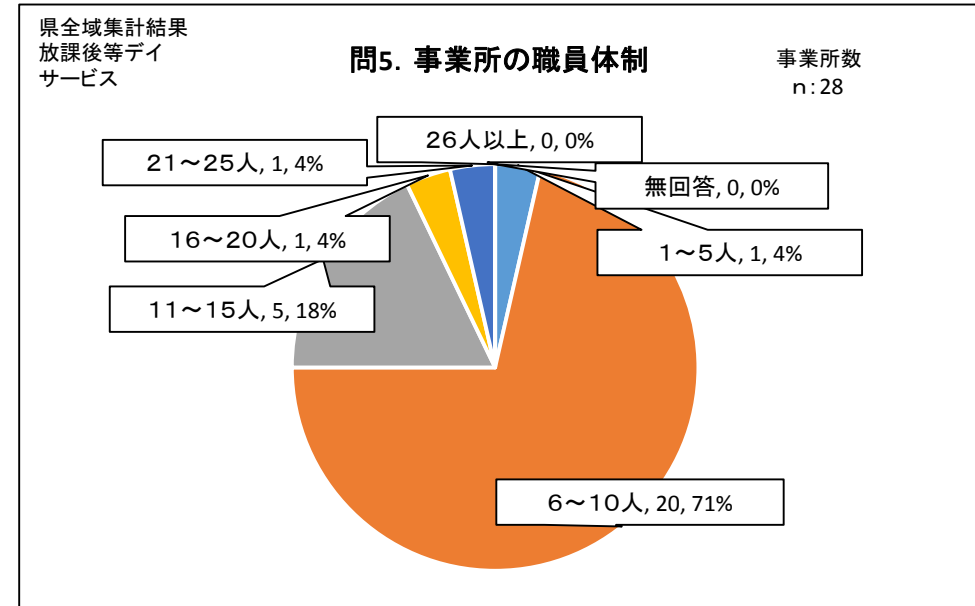
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0人	0	1	0	0	1	0	0	0	2	7.1%
1~5人	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3.6%
6~10人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3.6%
11~15人	0	3	0	0	0	0	0	0	3	10.7%
16~20人	0	2	1	0	0	1	1	0	5	17.9%
21~25人	1	1	0	1	0	0	0	2	5	17.9%
26~30人	1	1	0	0	0	1	2	0	5	17.9%
31~35人	0	2	1	0	0	0	1	0	4	14.3%
36~40人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3.6%
41~45人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3.6%
46~50人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
51人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	100.0%



問4	契約者数	「16~20人」、「21~25人」、「26~30人」が17.9%で同率。次いで、「31~35人」の14.3%。
----	------	---

問5. 事業所の職員体制

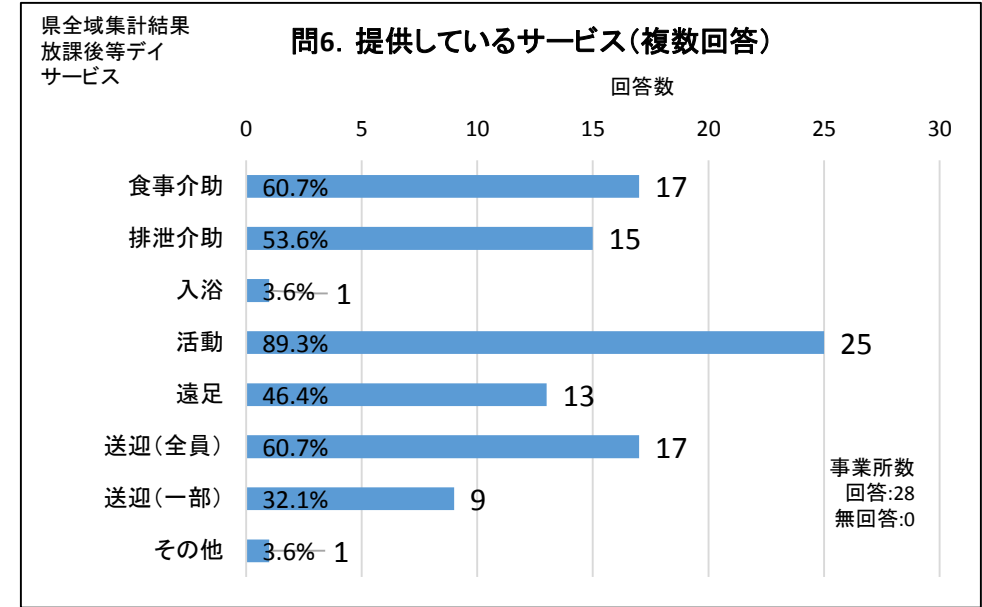
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1～5人	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3.6%
6～10人	2	9	1	0	1	3	2	2	20	71.4%
11～15人	0	0	2	1	0	0	2	0	5	17.9%
16～20人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3.6%
21～25人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3.6%
26人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	100.0%



問5	職員体制	「6～10人」が71%と一番多く、「11～15人」が18%、「1～5人」「16～20人」「21～25人」は各4%。
----	------	---

問6. 提供しているサービス内容(複数回答)

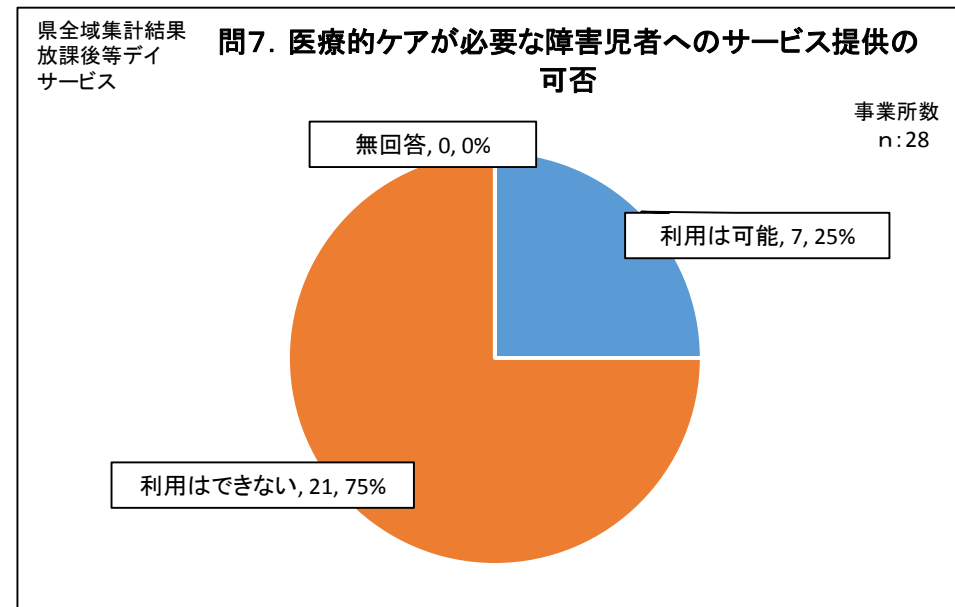
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
食事介助	2	6	2	1	1	2	3	0	17	60.7%
排泄介助	2	6	1	1	1	1	3	0	15	53.6%
入浴	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3.6%
活動	2	10	3	1	1	3	3	2	25	89.3%
遠足	2	5	3	0	1	0	1	1	13	46.4%
送迎(全員)	2	9	3	0	0	1	1	1	17	60.7%
送迎(一部)	0	0	2	1	1	1	3	1	9	32.1%
その他	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3.6%
回答事業所数	2	10	5	1	1	3	4	2	28	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	



問6	サービス内容	「活動」が89.3%、「食事介助」「送迎(全員)」が60.7%、「排泄介助」53.6%、「遠足」46.4%、「送迎(一部)」32.1%。
----	--------	--

問7. 医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否

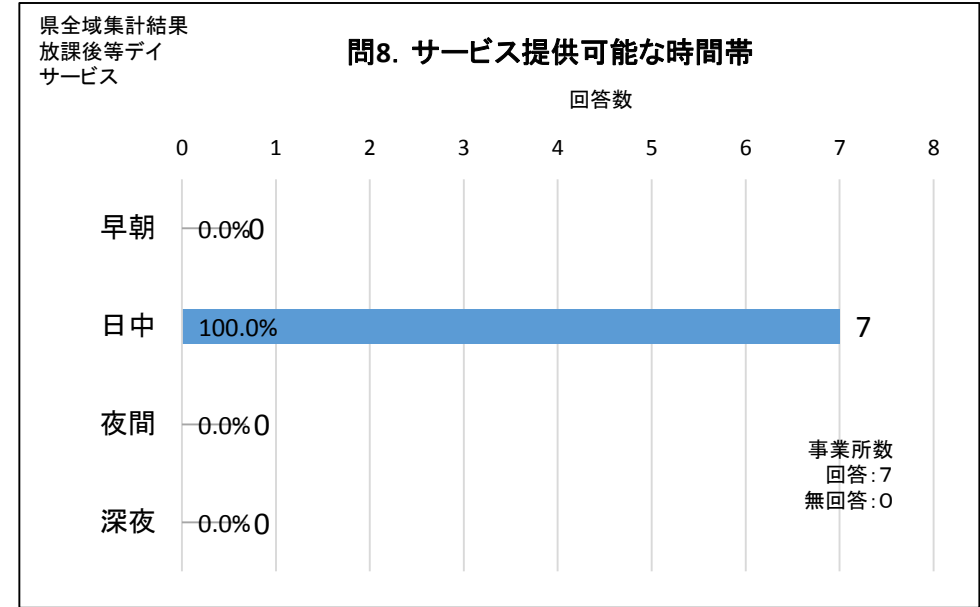
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
利用は可能	0	1	2	1	1	1	1	0	7	25.0%
利用はできない	2	9	3	0	0	2	3	2	21	75.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	



問7	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」は25%、「不可能」が75%。
----	--------------------------	---------------------

問8. サービス提供可能な時間帯(複数回答)

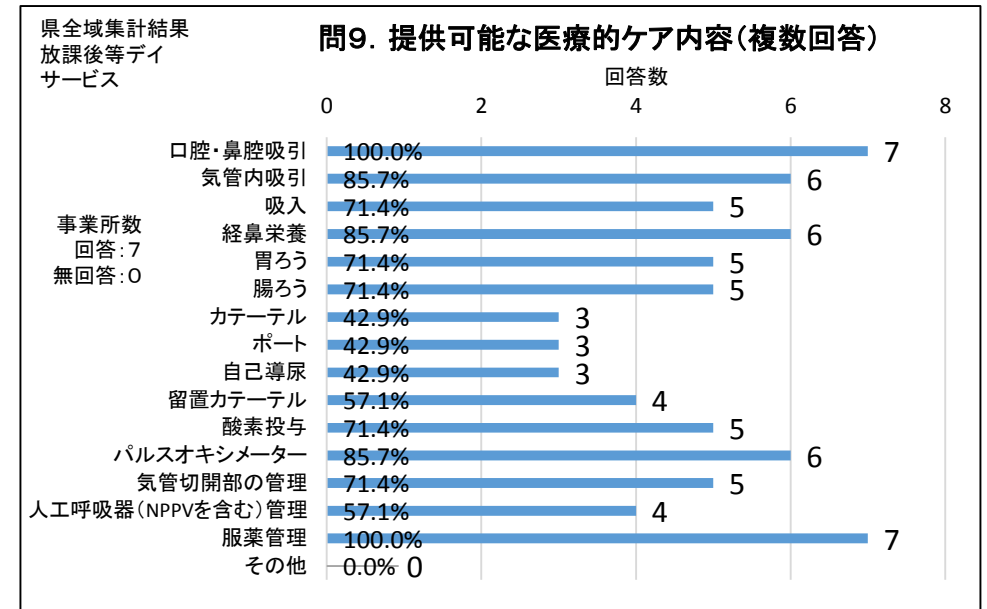
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
早朝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
日中	0	1	2	1	1	1	1	0	7	100.0%
夜間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
深夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	1	2	1	1	1	1	0	7	100.0%
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	2	1	1	1	1	0	7	



問8	時間帯	「日中」のみ。
----	-----	---------

問9. 提供可能な医療的ケアの内容

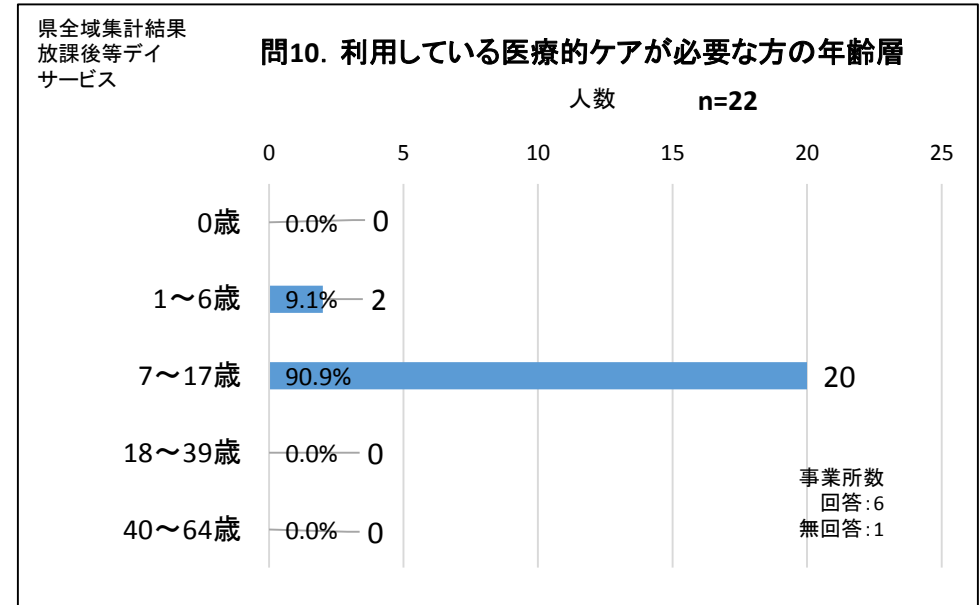
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	1	2	1	1	1	1	0	7	100.0%
	気管内吸引	0	1	2	1	0	1	1	0	6	85.7%
吸入	吸入	0	1	1	1	0	1	1	0	5	71.4%
経管栄養	経鼻栄養	0	1	1	1	1	1	1	0	6	85.7%
	胃ろう	0	1	1	1	0	1	1	0	5	71.4%
	腸ろう	0	1	1	1	0	1	1	0	5	71.4%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	1	1	0	0	1	0	3	42.9%
	ポート	0	0	1	1	0	0	1	0	3	42.9%
導尿	自己導尿	0	1	1	1	0	0	1	0	4	57.1%
	留置カテーテル	0	1	1	1	0	0	1	0	4	57.1%
	酸素投与	0	1	1	1	0	1	1	0	5	71.4%
	パルスオキシメーター	0	1	1	1	1	1	1	0	6	85.7%
	気管切開部の管理	0	1	1	1	0	1	1	0	5	71.4%
	人工呼吸器(NPPVを 含む)管理	0	1	1	1	0	0	1	0	4	57.1%
	服薬管理	0	1	2	1	1	1	1	0	7	100.0%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	回答数事業所数	0	1	2	1	1	1	1	0	7	
	無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	2	1	1	1	1	0	7		



問9	提供可能な医療的ケア	「服薬管理」「口腔・鼻腔吸引」100%、「気管内吸引」「経鼻栄養」「パルスオキシメーター」が85.7%、その他「気管切開部の管理」、「人工呼吸器の管理」、「中心静脈栄養」等も可能である。
----	------------	---

問10.利用している医療的ケアが必要な障害児者の年齢層別利用者数

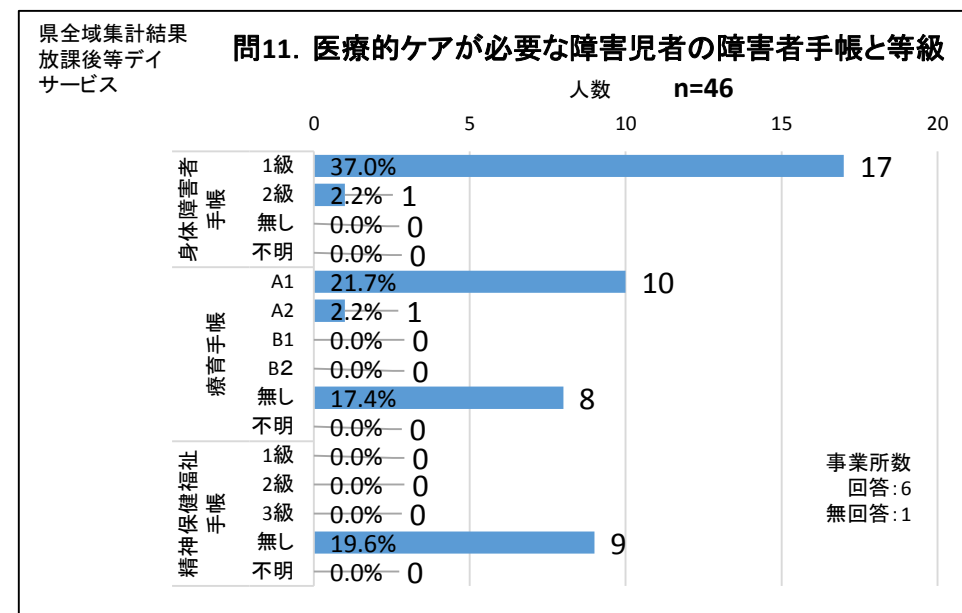
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
1～6歳	0	0	2	0	0	0	0	0	2	9.1%
7～17歳	0	1	11	3	0	1	4	0	20	90.9%
18～39歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
40～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計人数	0	1	13	3	0	1	4	0	22	100.0%
回答事業所数	0	1	2	1	0	1	1	0	6	
無回答事業所数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
合計事業所数	0	1	2	1	1	1	1	0	7	



問10	医療的ケアを受けている年齢層	「7～17歳」が90.9%、「1～6歳」が9.1%。
-----	----------------	----------------------------

問11. 医療的ケアが必要な障害児者の障害者手帳と等級(18歳未満)

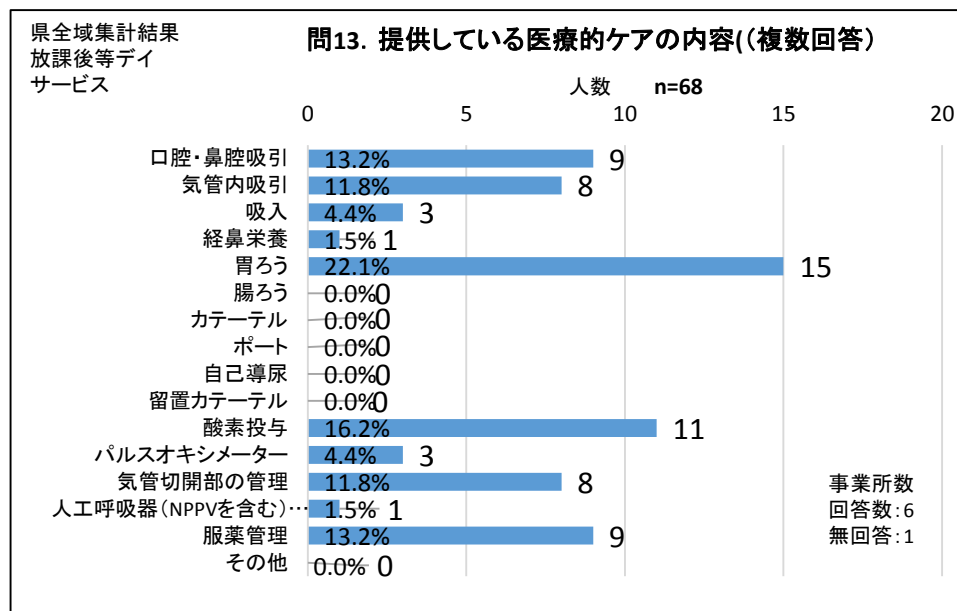
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
身体障害者 手帳	1級	0	1	9	3	0	0	4	0	17	37.0%
	2級	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2.2%
	無し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
療育手帳	A1	0	0	6	0	0	1	3	0	10	21.7%
	A2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2.2%
	B1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	B2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	0	1	7	0	0	0	0	0	8	17.4%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
精神保健福 祉手帳	1級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	2級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	3級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	無し	0	0	9	0	0	0	0	0	9	19.6%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	合計人数	0	2	31	3	0	2	8	0	46	100.0%
	回答事業所数	0	1	2	1	0	1	1	0	6	
	無回答事業所数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	事業所数合計	0	1	2	1	1	1	1	0	7	



問11 障害者手帳と等級 身障「1級」が37%、療育手帳「A1」が21.7%、「A2」が2.2%、「無し」が17.4%、精神保健福祉は「無し」が19.6%。

問13. 医療的ケアが必要な障害児者に提供しているサービス内容と利用者数

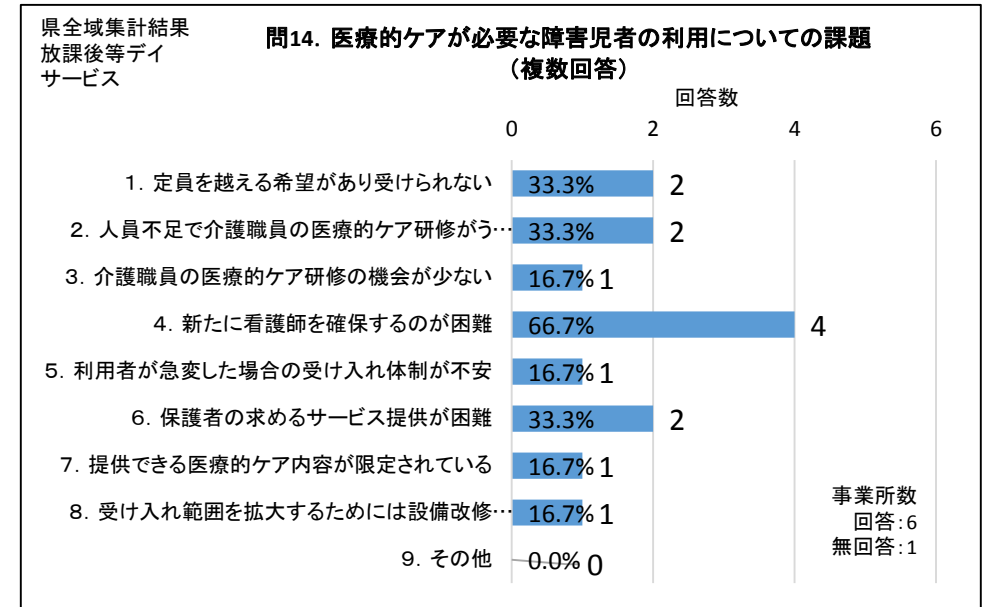
		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	0	9	0	0	0	0	0	9	13.2%
	気管内吸引	0	0	8	0	0	0	0	0	8	11.8%
吸入	吸入	0	0	3	0	0	0	0	0	3	4.4%
経管栄養	経鼻栄養	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1.5%
	胃ろう	0	0	9	2	0	0	4	0	15	22.1%
	腸ろう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
中心静脈 栄養	カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	ポート	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
導尿	自己導尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	留置カテーテル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	酸素投与	0	1	4	0	0	6	0	0	11	16.2%
	パルスオキシメーター	0	0	3	0	0	0	0	0	3	4.4%
	気管切開部の管理	0	0	8	0	0	0	0	0	8	11.8%
	人工呼吸器(NPPVを 含む)管理	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1.5%
	服薬管理	0	0	9	0	0	0	0	0	9	13.2%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	合計人数	0	1	54	3	0	6	4	0	68	100.0%
回答事業所数	0	1	2	1	0	1	1	0	6		
無回答事業所数	0	0	0	0	1	0	0	0	1		
合計事業所数	0	1	2	1	1	1	1	0	7		



問13 提供している医療的ケア 「胃瘻」が22.1%。「在宅酸素」16.2%、「口腔鼻腔吸引」「服薬管理」が13.2%。「気管切開部の管理」、「気管内吸引」は11.8%。

問14. 医療的ケアが必要な障害児者の利用について、課題となっている内容(複数回答)

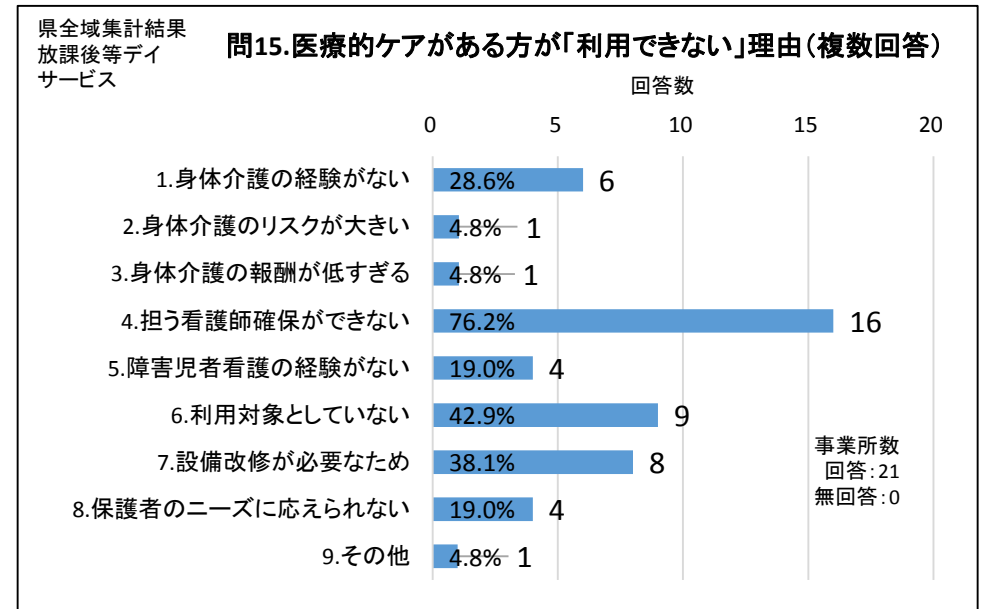
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 定員を越える希望があり受けられない	0	1	1	0	0	0	0	0	2	33.3%
2. 介護職員の医療的ケア研修を受けさせたいが人員不足で研修に出せない。	0	0	1	0	1	0	0	0	2	33.3%
3. 介護職員の医療的ケア研修の機会が少ない(また制限がある)ため資格人員が増えない	0	0	1	0	0	0	0	0	1	16.7%
4. 現に配置している看護師に多大の負担がかかっているが、新たに看護師を確保するのが困難	0	0	1	1	1	1	0	0	4	66.7%
5. 利用者が急変した場合の受け入れてくれる地域医療機関が少なく何かあった場合のことが不安	0	0	0	0	1	0	0	0	1	16.7%
6. 保護者の求める水準どおりサービス提供が困難	0	1	0	0	1	0	0	0	2	33.3%
7. 提供できる医療的ケア内容が限定されているため利用申し込みに対応できない場合がある	0	0	0	0	1	0	0	0	1	16.7%
8. 受け入れ範囲を拡大するためには設備改修が必要となるが、資金がない	0	0	0	0	1	0	0	0	1	16.7%
9. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	1	2	1	1	1	0	0	6	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
事業所数合計	0	1	2	1	1	1	1	0	7	



問14	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「新たな看護師の確保が困難」が最も多く、66.7%、その他の項目は約17~33%。
-----	----------------------	---

問15. 医療的ケアが必要な障害児者がサービスを「利用できない」理由(複数回答)

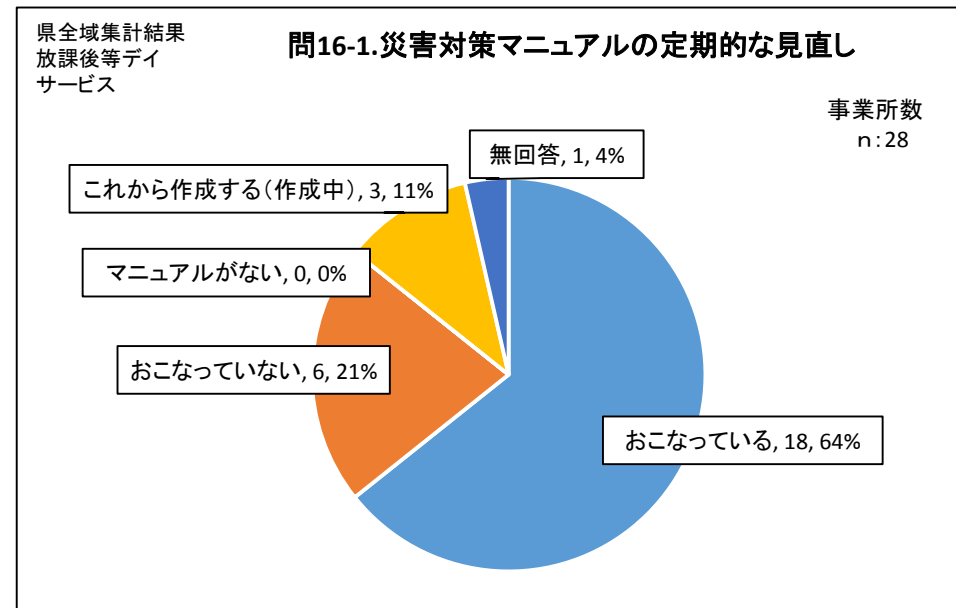
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の経験がないため	0	2	2	0	0	0	1	1	6	28.6%
2. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護は大きなリスクが伴うため	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4.8%
3. 医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の報酬が低すぎるため	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4.8%
4. 医療的ケアを担う看護師の確保ができないため	2	6	3	0	0	1	2	2	16	76.2%
5. 医療的ケアが必要な障害児者の看護の経験がないため	0	1	1	0	0	0	1	1	4	19.0%
6. 事業所として医療的ケアが必要な障害児者を4利用対象者としていないため	1	4	0	0	0	1	2	1	9	42.9%
7. 医療的ケアを実施するために設備改修が必要なため	0	4	1	0	0	1	1	1	8	38.1%
8. 保護者が求める看護(介護)ニーズに応えられないため	0	2	1	0	1	0	0	0	4	19.0%
9. その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4.8%
回答事業所数	2	9	3	0	1	1	3	2	21	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	2	9	3	0	1	1	3	2	21	



問15	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	「医療的ケアを担う看護師確保が出来ない」が76.2%。「事業所として対象としていない」42.9%、「医療的ケアを実施するための設備改修が必要」が38.1%、「医療的ケアが必要な障害児者の身体介護の経験が無い」が28.6%。
-----	---------------------	---

問16-①. 事業所の災害対策マニュアルの見直しを定期的におこなっていますか

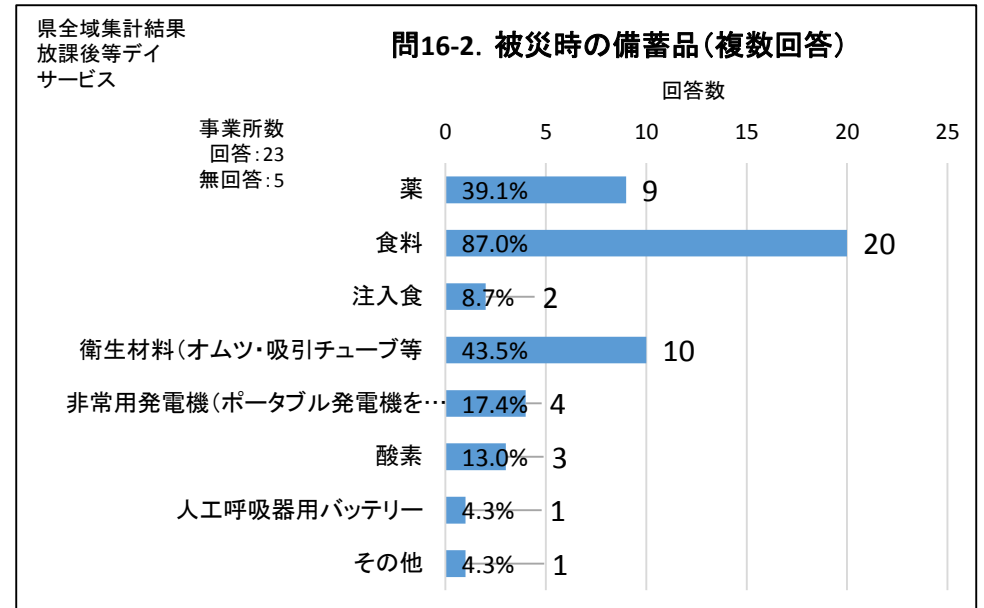
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
おこなっている	1	4	4	1	1	3	2	2	18	64.3%
おこなっていない	1	3	1	0	0	0	1	0	6	21.4%
マニュアルがない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
これから作成する (作成中)	0	3	0	0	0	0	0	0	3	10.7%
無回答	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3.6%
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	100.0%



問16-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」が64%、「行っていない」が21%、「これから作成する」が11%、「マニュアルがない」は0%。
-------	-------------------	--

問16-②..貴事業所来所時に利用者が被災されたときに備え、備蓄している物(複数回答)

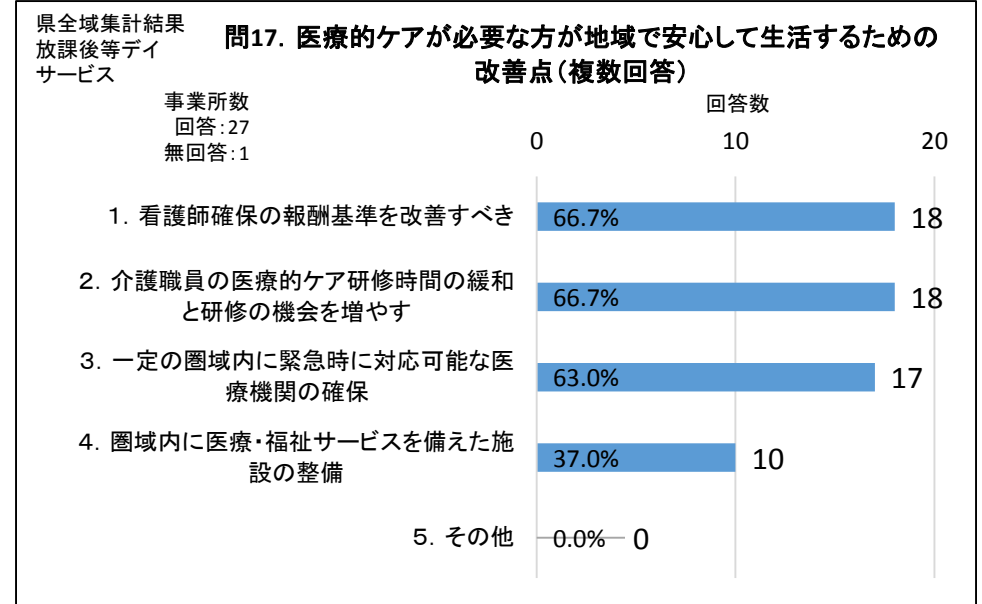
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
薬	0	3	2	1	0	1	0	2	9	39.1%
食料	1	7	5	0	1	3	1	2	20	87.0%
注入食	0	1	0	0	0	1	0	0	2	8.7%
衛生材料(オムツ・吸引 チューブ等)	1	3	4	1	0	1	0	0	10	43.5%
非常用発電機(ポータブル 発電機を含む)	0	1	1	0	0	1	0	1	4	17.4%
酸素	0	1	1	0	0	1	0	0	3	13.0%
人工呼吸器用バッテリー	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4.3%
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4.3%
回答事業所数	2	7	5	1	1	3	2	2	23	
無回答事業所数	0	3	0	0	0	0	2	0	5	
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	



問16-②	被災時用の備蓄品	「食料」87%、「衛生材料」43.5%、「薬」が39.1%。「酸素」、「注入食」、「呼吸器用バッテリー」や「発電機」の備蓄もしている。
-------	----------	---

問17. 医療的ケアが必要な障害児者の方々が地域で安心して生活を送れるようにするためにどういった点を改善する必要があるか(複数回答)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1. 看護師確保の報酬基準を改善すべき	2	6	5	0	0	1	2	2	18	66.7%
2. 介護職員の医療的ケア研修時間の緩和と研修の機会を増やす	2	8	3	0	1	1	2	1	18	66.7%
3. 一定の圏域内に緊急時に対応可能な医療機関の確保	1	6	3	0	1	3	1	2	17	63.0%
4. 圏域内に医療・福祉サービスを備えた施設の整備	1	4	1	1	1	0	0	2	10	37.0%
5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	2	10	5	1	1	3	3	2	27	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
事業所数合計	2	10	5	1	1	3	4	2	28	



問17	医療的ケアが必要な障害児者が安心して生活する為の改善点	「看護師確保の報酬基準の改善」、「介護職員の医療的ケア研修の時間緩和と機会の増」、「緊急時の対応可能な医療機関の確保」が63～67%。「圏域内に医療福祉を備えた施設の整備」が37%。
-----	-----------------------------	---

傾向と評価	運営主体は、社会福祉法人が過半数。職員体制は「6～10人」が71%。医療的ケアについては、「利用できない」が75%。提供可能な医療的ケアの内容は全般的に可能。医療的ケアが必要な方が「利用できない」理由については、「医療的ケアを担う看護師確保ができない」ことが76%と高い値。災害対策マニュアルの見直しについては「行っている」が64%で物品の備蓄もほぼできている。
-------	---